

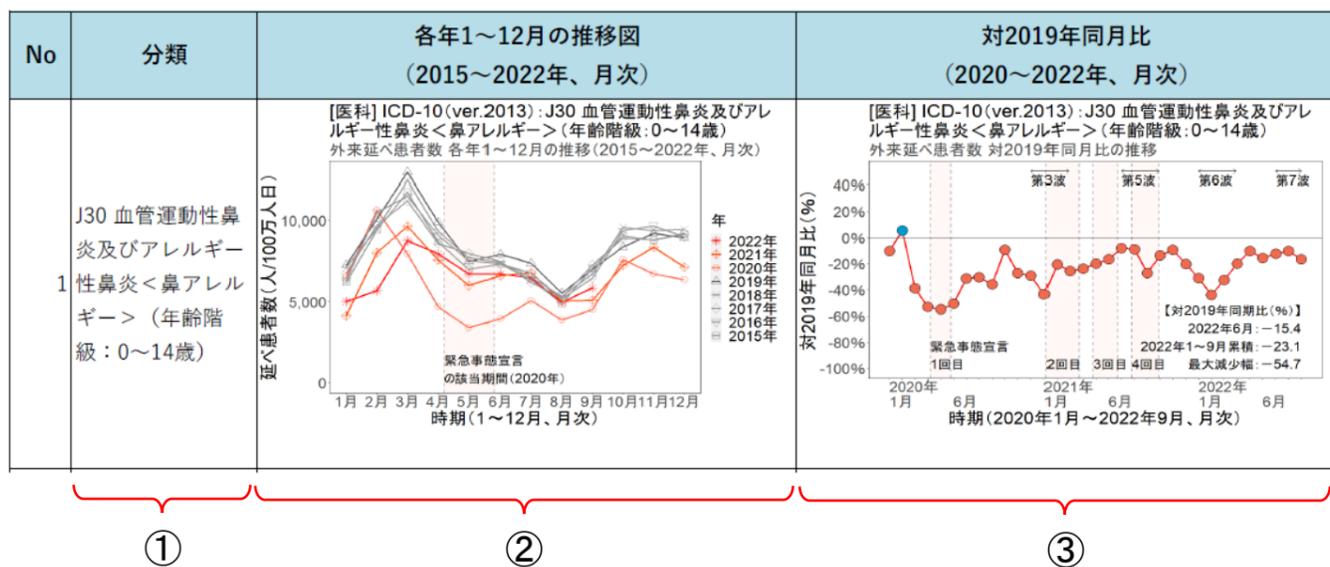
政策立案に資するレセプト分析に関する調査研究VI

コロナ禍における受療動向の検証 資料編

資料編について

報告書のテーマ1-1「コロナ禍における受療動向の検証」において、健保組合レセプトデータを用いてコロナ禍前と比較した患者数の推移と処方日数の推移のグラフを作成し可視化を行った。その結果を資料編として公開する。実態の確認や今後の研究のための仮説構築等にお役立ていただければ幸いである。

●患者数の推移のグラフ



①	外来の延べ患者数の推移について、次の分類で集計を行った。			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内科</th> <th>歯科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 患者数全体 ● 年齢階級別 ● 疾患(ICD10)別 ● 年齢階級・疾患(ICD10)別 ● 薬効分類別 ● 診療行為別 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 患者数全体 ● 年齢階級別 </td> </tr> </tbody> </table>	内科	歯科	<ul style="list-style-type: none"> ● 患者数全体 ● 年齢階級別 ● 疾患(ICD10)別 ● 年齢階級・疾患(ICD10)別 ● 薬効分類別 ● 診療行為別
内科	歯科			
<ul style="list-style-type: none"> ● 患者数全体 ● 年齢階級別 ● 疾患(ICD10)別 ● 年齢階級・疾患(ICD10)別 ● 薬効分類別 ● 診療行為別 	<ul style="list-style-type: none"> ● 患者数全体 ● 年齢階級別 			
②	2020年1月～2022年9月の延べ患者数の推移が過去5年と比べてどのような状態にあったか、年ごとに折れ線グラフを用いて可視化した。患者数の単位については各月の延べ加入者数100万人日当りに換算し、加入者数の増減に影響を受けないようにした。			
③	2020年1月～2022年9月の延べ患者数の対2019年同月比について、折れ線グラフを用いて可視化した。また、グラフ右下に、2022年6月の同月比、2020年1月～2022年9月の累積減少(増加)、最大減少月の同月比を数値で示した。			

●処方日数の推移のグラフ



④	2019年1月～2022年9月にかけての、外来における薬効分類別の医薬品の処方日数を集計し、四分位範囲、中央値、平均値の3つの指標について折れ線グラフを作成した。
⑤	④の平均値について、病院と診療所に分けて折れ線グラフを作成した。

目次

第 I 章 外来(医科)及び調剤

(ア) 外来延べ患者数	3
① 全体・年齢階級別	3
② ICD-10 別	4
③ 年齢階級別・ICD-10 別	55
・ 0～14 歳・ICD-10(Top 100)	55
・ 15～39 歳・ICD-10(Top 100)	75
・ 40～64 歳・ICD-10(Top 100)	95
④ 薬効分類別	115
・ 薬効分類別	115
・ これまで処方ルールの見直し・明確化の提言の対象となった医薬品	149
⑤ 診療行為別	150
(イ) 処方日数	158
① 全体・年齢階級別	158
② 薬効分類別	159
③ 薬効分類別・病院／診療所別	196

第 II 章 歯科

(ア) 外来延べ患者数	230
① 全体・年齢階級別	230

時系列グラフ

医科 全体・年齢階級別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	全体	<p>[医科] 全体 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年</p> <p>時期(1～12月、月次)</p>	<p>[医科] 全体 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-3.4 2022年1～9月累積：-5.3 最大減少幅：-30.5</p> <p>緊急事態宣言 1回目 2回目 3回目 4回目</p> <p>第3波 第5波 第6波 第7波</p> <p>時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p>
2	0～14歳	<p>[医科] 年齢階級別：0～14歳 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年</p> <p>時期(1～12月、月次)</p>	<p>[医科] 年齢階級別：0～14歳 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-15.2 2022年1～9月累積：-19.2 最大減少幅：-50.5</p> <p>緊急事態宣言 1回目 2回目 3回目 4回目</p> <p>第3波 第5波 第6波 第7波</p> <p>時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p>
3	15～39歳	<p>[医科] 年齢階級別：15～39歳 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年</p> <p>時期(1～12月、月次)</p>	<p>[医科] 年齢階級別：15～39歳 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-0.2 2022年1～9月累積：-1.8 最大減少幅：-29.2</p> <p>緊急事態宣言 1回目 2回目 3回目 4回目</p> <p>第3波 第5波 第6波 第7波</p> <p>時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p>
4	40～64歳	<p>[医科] 年齢階級別：40～64歳 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年</p> <p>時期(1～12月、月次)</p>	<p>[医科] 年齢階級別：40～64歳 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：1.5 2022年1～9月累積：0.1 最大減少幅：-20.8</p> <p>緊急事態宣言 1回目 2回目 3回目 4回目</p> <p>第3波 第5波 第6波 第7波</p> <p>時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
1	A04 その他の細菌性腸管感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A04 その他の細菌性腸管感染症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A04 その他の細菌性腸管感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
2	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
3	A49 部位不明の細菌感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
4	A56 その他の性的伝播性クラミジア疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A56 その他の性的伝播性クラミジア疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A56 その他の性的伝播性クラミジア疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
5	B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
6	B02 带状疱疹 [带状ヘルペス]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B02 带状疱疹[带状ヘルペス] 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B02 带状疱疹[带状ヘルペス] 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:18.3 2022年1~9月累積:12.5 最大減少幅:-5.8</p>
7	B07 ウイルス (性) いぼ<疣> <疣贅>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ<疣> <疣贅> 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ<疣> <疣贅> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-2.5 2022年1~9月累積:-2.2 最大減少幅:-12.3</p>
8	B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-66.8 2022年1~9月累積:-58.2 最大減少幅:-81.2</p>
9	B16 急性B型肝炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B16 急性B型肝炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B16 急性B型肝炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:8.2 2022年1~9月累積:3.8 最大減少幅:-16.4</p>
10	B18 慢性ウイルス性肝炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B18 慢性ウイルス性肝炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B18 慢性ウイルス性肝炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-7.5 2022年1~9月累積:-11.2 最大減少幅:-18.7</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
11	B30 ウイルス (性) 結膜炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B30 ウイルス(性)結膜炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B30 ウイルス(性)結膜炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -63.3 2022年1～9月累積: -66.3 最大減少幅: -74.1</p>
12	B34 部位不明のウ イルス感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B34 部位不明のウイルス感染症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B34 部位不明のウイルス感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 15.8 2022年1～9月累積: 101.5 最大減少幅: -80.3</p>
13	B35 皮膚糸状菌症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B35 皮膚糸状菌症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B35 皮膚糸状菌症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -11.8 2022年1～9月累積: -9.2 最大減少幅: -14.6</p>
14	B37 カンジダ症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B37 カンジダ症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B37 カンジダ症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 2.8 2022年1～9月累積: -1.8 最大減少幅: -10.9</p>
15	B59 ニューモシス チス症 (J17.3*)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B59 ニューモシスチス症 (J17.3*) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B59 ニューモシスチス症 (J17.3*) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 44.9 2022年1～9月累積: 36.5 最大減少幅: -12.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
16	C16 胃の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C16 胃の悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C16 胃の悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
17	C18 結腸の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C18 結腸の悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C18 結腸の悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
18	C34 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C34 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C34 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
19	C50 乳房の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C50 乳房の悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C50 乳房の悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
20	C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
21	C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
22	C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
23	D18 血管腫及びリンパ管腫, 全ての部位	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D18 血管腫及びリンパ管腫, 全ての部位 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D18 血管腫及びリンパ管腫, 全ての部位 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
24	D22 メラニン細胞性母斑	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
25	D25 子宮平滑筋腫	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D25 子宮平滑筋腫 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D25 子宮平滑筋腫 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
26	D27 卵巣の良性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D27 卵巣の良性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D27 卵巣の良性新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
27	D37 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D37 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D37 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
28	D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
29	D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
30	D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
31	D50 鉄欠乏性貧血	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D50 鉄欠乏性貧血 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D50 鉄欠乏性貧血 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 12.3 2022年1～9月累積: 8.1 最大減少幅: -14.8</p>
32	D64 その他の貧血	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D64 その他の貧血 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D64 その他の貧血 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 6.1 2022年1～9月累積: 2.9 最大減少幅: -18.5</p>
33	D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 17.5 2022年1～9月累積: 8.8 最大減少幅: -21.3</p>
34	D68 その他の凝固障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D68 その他の凝固障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D68 その他の凝固障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 20.6 2022年1～9月累積: 12.1 最大減少幅: -19.9</p>
35	D69 紫斑病及びその他の出血性病態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D69 紫斑病及びその他の出血性病態 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D69 紫斑病及びその他の出血性病態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 6.7 2022年1～9月累積: 3.5 最大減少幅: -19.2</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
36	D70 無顆粒球症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D70 無顆粒球症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D70 無顆粒球症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
37	D72 白血球のその他の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D72 白血球のその他の障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D72 白血球のその他の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
38	D75 血液及び造血器のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D75 血液及び造血器のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D75 血液及び造血器のその他の疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
39	D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
40	D84 その他の免疫不全症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D84 その他の免疫不全症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D84 その他の免疫不全症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
41	D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
42	E03 その他の甲状腺機能低下症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E03 その他の甲状腺機能低下症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E03 その他の甲状腺機能低下症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
43	E04 その他の非中毒性甲状腺腫	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E04 その他の非中毒性甲状腺腫 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E04 その他の非中毒性甲状腺腫 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
44	E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
45	E06 甲状腺炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E06 甲状腺炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E06 甲状腺炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
46	E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM> 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 25.4 2022年1~9月累積: 24.3 最大減少幅: -3.2</p>
47	E14 詳細不明の糖尿病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E14 詳細不明の糖尿病 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E14 詳細不明の糖尿病 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 3.8 2022年1~9月累積: 2.6 最大減少幅: -10.2</p>
48	E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 13.7 2022年1~9月累積: 7.3 最大減少幅: -5.1</p>
49	E22 下垂体機能亢進症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E22 下垂体機能亢進症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E22 下垂体機能亢進症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 16.1 2022年1~9月累積: 6.0 最大減少幅: -20.9</p>
50	E28 卵巣機能障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E28 卵巣機能障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E28 卵巣機能障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 26.5 2022年1~9月累積: 14.1 最大減少幅: -22.5</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
51	E53 その他のビタミンB群の欠乏症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E53 その他のビタミンB群の欠乏症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E53 その他のビタミンB群の欠乏症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
52	E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
53	E79 プリン及びピリミジン代謝障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
54	E83 ミネラル<鈣質>代謝障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E83 ミネラル<鈣質>代謝障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E83 ミネラル<鈣質>代謝障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
55	E86 体液量減少(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E86 体液量減少(症) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E86 体液量減少(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
56	E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
57	F20 統合失調症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F20 統合失調症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F20 統合失調症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
58	F31 双極性感情障害<躁うつ病>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F31 双極性感情障害<躁うつ病> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F31 双極性感情障害<躁うつ病> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
59	F32 うつ病エピソード	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F32 うつ病エピソード 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F32 うつ病エピソード 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
60	F34 持続性気分[感情]障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F34 持続性気分[感情]障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F34 持続性気分[感情]障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
61	F40 恐怖症性不安障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F40 恐怖症性不安障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F40 恐怖症性不安障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
62	F41 その他の不安障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F41 その他の不安障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F41 その他の不安障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
63	F43 重度ストレスへの反応及び適応障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
64	F44 解離性[転換性]障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F44 解離性[転換性]障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F44 解離性[転換性]障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
65	F45 身体表現性障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F45 身体表現性障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F45 身体表現性障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
66	F48 その他の神経症性障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F48 その他の神経症性障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F48 その他の神経症性障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
67	F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞> 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
68	F80 会話及び言語の特異的発達障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F80 会話及び言語の特異的発達障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F80 会話及び言語の特異的発達障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
69	F82 運動機能の特異的発達障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F82 運動機能の特異的発達障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F82 運動機能の特異的発達障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
70	F84 広汎性発達障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F84 広汎性発達障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F84 広汎性発達障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
71	F90 多動性障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F90 多動性障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F90 多動性障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 38.1 2022年1~9月累積: 33.8 最大減少幅: -3.7</p>
72	G20 パーキンソン< Parkinson>病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G20 パーキンソン< Parkinson>病 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G20 パーキンソン< Parkinson>病 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -0.2 2022年1~9月累積: -1.8 最大減少幅: -12.4</p>
73	G21 続発性パーキンソン< Parkinson>症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G21 続発性パーキンソン< Parkinson>症候群 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G21 続発性パーキンソン< Parkinson>症候群 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -0.2 2022年1~9月累積: -2.7 最大減少幅: -10.7</p>
74	G25 その他の錐体外路障害及び異常運動	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G25 その他の錐体外路障害及び異常運動 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G25 その他の錐体外路障害及び異常運動 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 23.1 2022年1~9月累積: 18.5 最大減少幅: -4.7</p>
75	G40 てんかん	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 3.6 2022年1~9月累積: -0.4 最大減少幅: -15.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
76	G43 片頭痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G43 片頭痛 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G43 片頭痛 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
77	G44 その他の頭痛症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G44 その他の頭痛症候群 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G44 その他の頭痛症候群 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
78	G47 睡眠障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
79	G56 上肢の単ニューロパチ<シ>ー	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G56 上肢の単ニューロパチ<シ>ー 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G56 上肢の単ニューロパチ<シ>ー 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
80	G57 下肢の単ニューロパチ<シ>ー	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G57 下肢の単ニューロパチ<シ>ー 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G57 下肢の単ニューロパチ<シ>ー 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
81	G62 その他の多発 (性) ニューロパ チ<シ>ー	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>ー 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>ー 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
82	G64 末梢神経系の その他の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G64 末梢神経系のその他の障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G64 末梢神経系のその他の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
83	G80 脳性麻痺	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G80 脳性麻痺 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G80 脳性麻痺 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
84	G90 自律神経系の 障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G90 自律神経系の障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G90 自律神経系の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
85	G93 脳のその他の 障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G93 脳のその他の障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G93 脳のその他の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
86	G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 19.4 2022年1~9月累積: 12.6 最大減少幅: -15.7</p>
87	H00 麦粒腫及びさんく霰粒腫	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさんく霰粒腫 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさんく霰粒腫 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 2.1 2022年1~9月累積: -0.5 最大減少幅: -25.6</p>
88	H01 眼瞼のその他の炎症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H01 眼瞼のその他の炎症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H01 眼瞼のその他の炎症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 13.0 2022年1~9月累積: 7.2 最大減少幅: -25.1</p>
89	H02 眼瞼のその他の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H02 眼瞼のその他の障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H02 眼瞼のその他の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 12.0 2022年1~9月累積: 11.4 最大減少幅: -24.5</p>
90	H04 涙器の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H04 涙器の障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H04 涙器の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 22.8 2022年1~9月累積: 19.4 最大減少幅: -22.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
91	H10 結膜炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H10 結膜炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H10 結膜炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -2.1 2022年1~9月累積: -10.1 最大減少幅: -40.0</p>
92	H16 角膜炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 2.2 2022年1~9月累積: -0.4 最大減少幅: -30.9</p>
93	H25 老人性白内障	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H25 老人性白内障 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H25 老人性白内障 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 32.1 2022年1~9月累積: 27.2 最大減少幅: -16.0</p>
94	H26 その他の白内障	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H26 その他の白内障 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H26 その他の白内障 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 7.4 2022年1~9月累積: 5.9 最大減少幅: -19.3</p>
95	H33 網膜剥離及び裂孔	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H33 網膜剥離及び裂孔 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H33 網膜剥離及び裂孔 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 14.5 2022年1~9月累積: 13.0 最大減少幅: -18.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
96	H35 その他の網膜障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H35 その他の網膜障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H35 その他の網膜障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
97	H40 緑内障	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H40 緑内障 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H40 緑内障 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
98	H43 硝子体の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H43 硝子体の障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H43 硝子体の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
99	H50 その他の斜視	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H50 その他の斜視 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H50 その他の斜視 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
100	H52 屈折及び調節の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H52 屈折及び調節の障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H52 屈折及び調節の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
101	H53 視覚障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H53 視覚障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H53 視覚障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
102	H60 外耳炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H60 外耳炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H60 外耳炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
103	H61 その他の外耳障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H61 その他の外耳障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H61 その他の外耳障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
104	H65 非化膿性中耳炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H65 非化膿性中耳炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H65 非化膿性中耳炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
105	H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
106	H68 耳管炎及び耳管閉塞	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H68 耳管炎及び耳管閉塞 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H68 耳管炎及び耳管閉塞 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
107	H81 前庭機能障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H81 前庭機能障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H81 前庭機能障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
108	H90 伝音及び感音難聴	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H90 伝音及び感音難聴 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H90 伝音及び感音難聴 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
109	H91 その他の難聴	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H91 その他の難聴 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H91 その他の難聴 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
110	H93 耳のその他の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H93 耳のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H93 耳のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
111	I10 本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>時期(1~12月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:8.7 2022年1~9月累積:7.7 最大減少幅:-8.3</p> <p>時期(2020年1月~2022年9月、月次)</p>
112	I20 狭心症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I20 狭心症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>時期(1~12月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I20 狭心症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:3.4 2022年1~9月累積:0.5 最大減少幅:-10.8</p> <p>時期(2020年1月~2022年9月、月次)</p>
113	I25 慢性虚血性心疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I25 慢性虚血性心疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>時期(1~12月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I25 慢性虚血性心疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:8.2 2022年1~9月累積:6.4 最大減少幅:-7.8</p> <p>時期(2020年1月~2022年9月、月次)</p>
114	I34 非リウマチ性僧帽弁障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I34 非リウマチ性僧帽弁障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>時期(1~12月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I34 非リウマチ性僧帽弁障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:12.2 2022年1~9月累積:8.2 最大減少幅:-11.5</p> <p>時期(2020年1月~2022年9月、月次)</p>
115	I48 心房細動及び粗動	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I48 心房細動及び粗動 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>時期(1~12月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I48 心房細動及び粗動 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:12.6 2022年1~9月累積:9.8 最大減少幅:-10.8</p> <p>時期(2020年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
116	I49 その他の不整脈	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I49 その他の不整脈 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I49 その他の不整脈 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
117	I50 心不全	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I50 心不全 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I50 心不全 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
118	I63 脳梗塞	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I63 脳梗塞 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I63 脳梗塞 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
119	I65 脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I65 脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I65 脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
120	I67 その他の脳血管疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I67 その他の脳血管疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I67 その他の脳血管疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
121	169 脳血管疾患の 続発・後遺症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):169 脳血管疾患の続発・後遺症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):169 脳血管疾患の続発・後遺症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:3.7 2022年1～9月累積:1.9 最大減少幅:-11.0</p>
122	170 アテローム< じゅく<粥>状> 硬化(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):170 アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):170 アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:7.1 2022年1～9月累積:4.3 最大減少幅:-10.6</p>
123	173 その他の末梢 血管疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):173 その他の末梢血管疾患 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):173 その他の末梢血管疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:15.0 2022年1～9月累積:12.8 最大減少幅:-14.4</p>
124	174 動脈の塞栓症 及び血栓症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):174 動脈の塞栓症及び血栓症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):174 動脈の塞栓症及び血栓症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:0.5 2022年1～9月累積:-4.6 最大減少幅:-12.3</p>
125	195 低血圧(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):195 低血圧(症) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):195 低血圧(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:18.9 2022年1～9月累積:12.9 最大減少幅:-16.5</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
126	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] <感冒> 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] <感冒> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
127	J01 急性副鼻腔炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
128	J02 急性咽喉炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽喉炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽喉炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
129	J03 急性扁桃炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
130	J04 急性喉頭炎及び び気管炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J04 急性喉頭炎及び び気管炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J04 急性喉頭炎及び び気管炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
131	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
132	J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
133	J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
134	J20 急性気管支炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
135	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
136	J31 慢性鼻炎, 鼻咽喉炎及び咽喉炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J31 慢性鼻炎, 鼻咽喉炎及び咽喉炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J31 慢性鼻炎, 鼻咽喉炎及び咽喉炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -22.2 2022年1~9月累積: -25.8 最大減少幅: -50.1</p>
137	J32 慢性副鼻腔炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -30.9 2022年1~9月累積: -33.6 最大減少幅: -48.7</p>
138	J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -48.5 2022年1~9月累積: -46.5 最大減少幅: -74.1</p>
139	J42 詳細不明の慢性気管支炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 2.8 2022年1~9月累積: 1.4 最大減少幅: -17.8</p>
140	J45 喘息	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -25.3 2022年1~9月累積: -26.3 最大減少幅: -44.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
141	K12 口内炎及び関連病変	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K12 口内炎及び関連病変 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K12 口内炎及び関連病変 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -3.6 2022年1～9月累積: -7.4 最大減少幅: -25.3</p>
142	K21 胃食道逆流症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K21 胃食道逆流症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K21 胃食道逆流症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 13.6 2022年1～9月累積: 11.2 最大減少幅: -11.1</p>
143	K25 胃潰瘍	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K25 胃潰瘍 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K25 胃潰瘍 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -4.3 2022年1～9月累積: -7.3 最大減少幅: -19.3</p>
144	K29 胃炎及び十二指腸炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K29 胃炎及び十二指腸炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K29 胃炎及び十二指腸炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -1.0 2022年1～9月累積: -2.4 最大減少幅: -21.8</p>
145	K31 胃及び十二指腸のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K31 胃及び十二指腸のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K31 胃及び十二指腸のその他の疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 4.3 2022年1～9月累積: 2.6 最大減少幅: -23.3</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
146	K51 潰瘍性大腸炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K51 潰瘍性大腸炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K51 潰瘍性大腸炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:13.8 2022年1～9月累積:13.5 最大減少幅:-9.6</p>
147	K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:6.5 2022年1～9月累積:3.2 最大減少幅:-20.0</p>
148	K58 過敏性腸症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K58 過敏性腸症候群 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K58 過敏性腸症候群 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:11.6 2022年1～9月累積:8.3 最大減少幅:-15.5</p>
149	K59 その他の腸の機能障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K59 その他の腸の機能障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K59 その他の腸の機能障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:16.4 2022年1～9月累積:11.6 最大減少幅:-13.9</p>
150	K63 腸のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K63 腸のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K63 腸のその他の疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:14.0 2022年1～9月累積:11.5 最大減少幅:-25.5</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
151	K64 痔核及び肛門 周囲静脈血栓症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
152	K73 慢性肝炎, 他 に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K73 慢性肝炎, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K73 慢性肝炎, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
153	K76 その他の肝疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K76 その他の肝疾患 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K76 その他の肝疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
154	K80 胆石症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K80 胆石症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K80 胆石症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
155	K82 胆のう<囊> のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K82 胆のう<囊>のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K82 胆のう<囊>のその他の疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
156	L01 膿か<痂>疹	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L01 膿か<痂>疹 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L01 膿か<痂>疹 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -14.4 2022年1~9月累積: -15.9 最大減少幅: -26.2</p>
157	L03 蜂巣炎<蜂窩織炎>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎<蜂窩織炎> 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎<蜂窩織炎> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 1.1 2022年1~9月累積: -3.0 最大減少幅: -16.1</p>
158	L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 19.5 2022年1~9月累積: 18.2 最大減少幅: -11.2</p>
159	L20 アトピー性皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 6.9 2022年1~9月累積: 2.9 最大減少幅: -15.6</p>
160	L21 脂漏性皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 14.9 2022年1~9月累積: 13.4 最大減少幅: -11.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
161	L25 詳細不明の接触皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L25 詳細不明の接触皮膚炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L25 詳細不明の接触皮膚炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -1.8 2022年1~9月累積: -4.0 最大減少幅: -18.8</p>
162	L27 摂取物質による皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L27 摂取物質による皮膚炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L27 摂取物質による皮膚炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -6.8 2022年1~9月累積: -7.9 最大減少幅: -19.4</p>
163	L29 そう<掻>痒症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L29 そう<掻>痒症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L29 そう<掻>痒症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 8.3 2022年1~9月累積: 4.2 最大減少幅: -19.5</p>
164	L30 その他の皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 3.8 2022年1~9月累積: 1.0 最大減少幅: -22.7</p>
165	L50 じんま<蕁麻>疹	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L50 じんま<蕁麻>疹 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L50 じんま<蕁麻>疹 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 9.0 2022年1~9月累積: 5.6 最大減少幅: -22.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
166	L70 ざ瘡<アクネ>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L70 ざ瘡<アクネ> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L70 ざ瘡<アクネ> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
167	L81 その他の色素異常症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
168	L84 うおのめ<鶏眼>及びべんち<胼胝>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L84 うおのめ<鶏眼>及びべんち<胼胝> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L84 うおのめ<鶏眼>及びべんち<胼胝> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
169	L85 その他の表皮肥厚	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L85 その他の表皮肥厚 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L85 その他の表皮肥厚 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
170	L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害、他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害、他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害、他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
171	M06 その他の関節リウマチ	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M06 その他の関節リウマチ 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M06 その他の関節リウマチ 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
172	M10 痛風	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M10 痛風 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M10 痛風 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
173	M13 その他の関節炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M13 その他の関節炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M13 その他の関節炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
174	M17 膝関節症 [膝の関節症]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M17 膝関節症 [膝の関節症] 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M17 膝関節症 [膝の関節症] 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
175	M19 その他の関節症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M19 その他の関節症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M19 その他の関節症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
176	M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
177	M47 脊椎症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M47 脊椎症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M47 脊椎症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
178	M48 その他の脊椎障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M48 その他の脊椎障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M48 その他の脊椎障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
179	M50 頸部椎間板障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M50 頸部椎間板障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M50 頸部椎間板障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
180	M51 その他の椎間板障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M51 その他の椎間板障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M51 その他の椎間板障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>